

葉山町国民健康保険特別会計決算状況等について (R8. 4. 17 時点)

1. 令和7年度決算見込み

- (1) 令和8年3月19日、70,000千円の基金積立を執行しようとした際、口座残高が不足する状況となりました。改めて令和7年度決算見込みを試算したところ、70,000千円の基金積立を行うと決算収支見込がマイナスになることがわかりました。
- (2) 決算収支見込がマイナスとなる主な要因としては現年度保険料収入の予算割れになります。令和7年度現年度保険料計上額は780,423千円。この収入を得るには徴収率92%として848,286千円の保険料調定ができるよう、保険料率を上げるか、8%差額分を補填する予算を計上する必要がありましたが、計上出来ていませんでした。
- (3) 当初予算計上の70,000千円の基金積立を行うと、収支が約48,000千円の赤字となることから、基金積立は行えませんでした。
- (4) 基金積立を見送ったことで、収支は約22,000千円の黒字となりましたが、翌年度への繰越金(前年度剰余金)に約18,000千円の不足が出る見込みです。

2. 令和8年度予算への影響について

- (1) 令和8年度予算も令和7年度と同様に、保険料率を据置くことによって生じる保険料収入不足分を補填するための予算計上が出来ていないため、調定見込み額から算出すると約52,000千円の不足が生じる見込みです。また、令和8年度予算は令和7年度繰越金を歳入として40,000千円で見込んでいるため約18,000千円の財源不足が生じる見込みです。これらを合計すると70,000千円が歳入不足となります。

3. 基金について

- (1) 令和7年度基金積立ができなかったことで、令和7年度末基金残高が44,503千円になる見込みです。
- (2) 令和8年度当初に40,000千円の基金を取り崩すため、令和8年度早々に基金残高が4,503千円となる予定です。県の運営方針に定められている保険料調定額の5%である40,000千円以上を確保できていないこととなります。

4. 令和8年度以降の予算の立て直しについて

- (1) 令和7年度決算、令和8年度調定見込額を確認し、一般会計繰入金を活用し基金を積み立て、備えることで、歳入に不足が生じたときには基金で賄えるよう運用していきます。